

広報

みなみいず

2019

4

No.586

満開の桜並木沿いを走る

— 2月23日 第3回みちくさ夜桜マラソン —

3月定例町議会



平成31年南伊豆町議会3月定例会が2月26日から3月15日まで開催され、「南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定」などが原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

平成31年南伊豆町議会3月定例会の開会にあたり、平成30年12月定例会以後の主な事項について行政報告を申し上げます。

生涯活躍のまちづくり 推進事業

南伊豆町まち・ひと・しごと総合戦略に基づく生涯活躍のまちづくり事業においては、事業推進に必要なとされる拠点施設整備予定地として共立湊病院跡地の取得に取り組んでまいりました。

土地所有者である一部事務組合下田メディカルセンターとの協議から、約3億2,000万円とする売買価格を以って仮契約要請の段階まで進みましたが、その後の敷地内構築物解体計画に付随する土壤汚染調査などを経て現在に至っております。

2月6日には、同組合議会2月定例会にかかる議案審議のため、構成市町の首長による運営会議が開催され、病院跡地売却価格として、約4億2,000万円が提示されたほか、土壤汚染処理及び病院建物等構築物の解体工事にかかるロードマップなども協議されました。

敷地内の有害物質除去工事については、本年11月頃に完了予定とされ

ており、平成32年10月に解体工事の入札、解体工事予定期間では平成33年度までとされております。

跡地購入にかかる売買価格が約1億円増額するほか、拠点施設整備の財源となる地方創生交付金等の適用期限切れなどが懸念されており、これまで確認されてきた拠点施設整備構想における前提条件が覆される結果となりました。

同組合からは回答期限など示されてはおりませんが、8月開催の運営会議を目安にその是非を判断してまいりたいと考えております。

石廊崎オーシャンパーク 整備事業

本年4月1日の開園に向けて当該施設内の休憩所建築工事並びに駐車場等整備工事が最終段階を迎えております。

このうち、休憩所建築工事については2月20日の完了検査を経て什器・備品類の搬入も始まり、県道からのアクセス道路約800mの舗装工事も完成間近となり、3月28日の竣工式を待つばかりとなりました。

また、4月1日には近隣観光関係者等を招待したオープニングイベントが予定され、南伊豆町アンバサダーにもご参加いただきながら先着100名の来場者へ記念品配布なども

計画されております。本年4月下旬からのゴールデンウィークでは10連休も想定されるなかで地場産品等を中心としたマルシェの開設計画なども進められており、また、灯台敷地の通年開放といった新たな魅力化の促進を以ってより多くの来園者獲得を目指すとしております。

町内外からも大変大きな期待が寄せられておりますので、当地でしか体感できない景観美や四季折々の観光イベント、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの特異なジオサイトなどを前面に打ち出しながら、伊豆半島最南端を起点とした交流人口の拡大を以って半島南部地域の更なる活性化を目指してまいります。

南上地域農山村活性化事業

昨年3月に設置した南伊豆町再生可能エネルギー農山村活性化協議会において、本年1月29日に3回目となる協議会が開催され、発電事業者から東京電力との接続費用減額交渉のほか、建設予定地所有者との権利協議に関する経過報告が行われ、プラント建設の取り組みが着実に進展するなか、南上地域を中心とした地域活性化の流れが加速してきたものと実感しております。

また、農山漁村再生可能エネルギー

一法を所管する農林水産省関東農政局の担当者をアドバイザーとしてお招きし、国内における現状と事例を交えたご助言などをいただきました。

今後、同発電プラント事業の全町的な広がりが期待されるなかで更なる地域活性化を目指すとともに、より積極的な行政支援を推し進めてまいります。

特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」

全国初となる自治体間連携に基づく特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」の開設から1年が経過しようとしております。

この間の利用状況では、本年1月末現在で90名の入所定員に対し82名が入所されており、ショートステイは延べ666名、デイサービスは延べ1,652名と多くの方々にご利用されております。

入所者では杉並区民が37名、南伊豆町民が18名、賀茂圏域から21名で、他県からも6名となっており、概ね堅調な推移を見せております。

また、地域交流スペースにおいては、地元高校生による「高校生カフェ」や、日本フィルハーモニー交響楽団のミニコンサートなども開催されたほか、高円寺阿波踊り連による阿波踊りの披露や地区秋祭りの太鼓披露など入所者との地域交流が図られております。

南伊豆町健康福祉センターの開設

当該施設は、町民の健康増進と福祉サービス向上に資するための中心的役割を担う施設として開設し、南伊豆町地域包括支援センター及び南伊豆町社会福祉協議会が業務展開しております。

昨年4月からの利用状況では、多目的ホールに48団体で延べ121回のご利用があり利用者数では1,918人、会議室で80団体139回で1,940人、調理室には18団体が23回で359人となっており、多くの方々にご利用い

ただいております。

同センターを活用した事業内容は、介護予防講座、認知症カフェ、乳幼児健診や育児相談などの母子保健事業と多岐に渡る利用形態となっており、当初予想した利用者数を大きく上回る実績となる見込みであります。

今後も、地域包括支援センター・社会福祉協議会及び特別養護老人ホーム運営法人による個々の専門性を活かした町民向け講演会のほか各種連携事業の推進を以って、地域包括ケアシステムの確立と深化を図ってまいります。

商工・観光振興の取り組み

(1) ふるさと寄附の状況

平成30年12月末現在の寄附件数では3,192件で前年度比30.7%、寄附の総額では1億5,943万1,000円で前年度比50.9%と大幅な減収となっております。

ふるさと納税制度においては、運用当初の制度目的が形骸化し、返礼品の豪華さが注目された返礼品競争を反映したなかで、自治体に対する返礼率割合の見直しや地場産品の定義、寄附金を活用した新たな方針などに関する是正指導等が度々求められたことなどから、返礼率割合5割を3割に変更したことがこの結果に繋がったものと分析しております。

(2) 第21回みなみの桜と菜の花まつり

2月10日から道の駅・下賀茂温泉湯の花をメイン会場に「第21回みなみの桜と菜の花まつり」が開催され、今回のポスターには昨年の20周年記念で実施された写真コンテストの優秀作品が採用されております。

●観光施設等の入込状況（1月～12月）

区分	平成29年(人)	平成30年(人)	前年比(%)
宿泊施設	205,553	198,444	96.5
観光施設	124,480	120,981	97.2
温泉施設	93,351	88,214	94.5
合計	423,384	407,639	96.3

開幕日には菜の花畑特設ステージにおいてオープニング神事が執り行われ、翌週の17日には菜の花結婚式が挙行されました。

今回当選されたカップルは、二條在住の平子高麗様・香織様で、下田高校吹奏楽部の演奏のもと、ご親族や友人のほか訪れた多くの観光客の方々からも祝福を受けておりました。

2月23日には恒例となりました銀の湯会館をスタート・ゴールとする「第3回みちくさ夜桜マラソン in 南伊豆町」が開催され5km・10km・20kmの各部門にエントリーされた町内外のランナーの方々は、ライトアップされた満開の桜並木コースを堪能いたしました。

大会期間中の交通規制においてご迷惑をお掛けしていることと存じますが、皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

(3) 平成30年中の観光施設等の入込み

平成30年1月から12月までの町内観光施設等の入込み状況は、分野別に、主要観光施設で120,981人と前年比97.2%、宿泊施設では198,444人で96.5%、町営温泉施設は88,214人で94.5%となりました。

以上で、平成31年3月定例会の行政報告を終わります。



3月定例町議会 平成31年度施政方針(要旨)

平成31年度に向けては、結実しつつあるこれまでの取り組みをなお一層加速させるほか、今後ますます行政資源が限られていくなかで絶えず中長期的な財政状況を把握し、健全経営に最大限の配慮を図りながら事務事業の選択と最適化を推し進め、安定的な行政サービスの提供に努めてまいります。

本町の財政状況では依存財源比率が極めて高く、国等の動向に左右されることから、不測の事態に柔軟に対応できるようふるさと寄附等の財源確保や財政調整基金等の充実を図ることで健全な町政運営に邁進し、第5次南伊豆町総合計画に基づく基本構想・目標に掲げる主要施策のほか南伊豆町過疎地域自立促進計画などの着実な履行に向けて職員一丸となって取り組みます。

町長就任後2度目の新年度予算編成となりましたが、公約に掲げた施策のなかでも「子育て支援、観光・地域産業の振興、福祉・防災の充実」を主体とした町政運営に勇往邁進してまいります。

子育て支援

平成30年度においては、子育て支援を最優先施策とするなかで高校生通学バス補助制度の創設、こども医療費の無償化にかかる対象年齢を18歳まで拡充したほか、南崎認定こども園及び小学校3校の空調機器整備においては猛暑前の

6月下旬には無事稼働することができました。引き続ききめ細やかな各種支援策に取り組むとともに保育・教育環境の更なる充実に努めてまいります。

具体的には、中学校2校の空調整備に着手するほか、児童通学補助にかかる距離規定の改正、懸案とされてきた南中小学校校庭改修については、国庫補助事業の採択如何に関わらず最優先で取り組みます。

さて、全国各地では少子化の進行が加速度を増し、学校統廃合や通学区域の変更及び小中一貫校の創設など地域特性を生かした対策が講じられております。

学校再編は本町においても避けては通れない重要な課題であり、適切な対応が求められております。今後の児童生徒数の動向に注視し、長期的な視点のもと保護者や地域の方々からのご意見なども伺いながらより良い教育環境の構築に向けて真摯に取り組んでまいります。

また、敷地の一部が津波浸水区域とされる南崎認定こども園については、安全・安心な保育環境の確保や入園児数の動向、法律改正による地方公務員の会計年度任用職員制度等への移行などを踏まえ、南伊豆認定こども園への統合を目指すなかで、適正規模に要する用地確保及び園舎増設に取り組むとともに、子育て支援センターの更なる機能充実を以って質の高い保育環境の整備促進を図ります。

このほか、子育てに欠かせない施策のひとつとして安全な遊び場の提供が強く求められていることから、本町クリーンセンターの余剰敷地を活用した新たな遊具広場を整備し、ふるさと公園内の遊具

移設を以って河川増水時調整地という立地リスクの回避に努めてまいります。

また、子育て支援に繋がる新たな取り組みとして少子化の流れを少しでも食い止めたいとの思いから、出産を控えたご家族の負担軽減を目途に出産祝金制度の見直しに着手いたします。

具体的には、現行で第1子・第2子で各50,000円、第3子以降では100,000円とする祝金を、本年4月から第1子で150,000円、第2子で200,000円、第3子以降は250,000円に増額するものです。

観光・地域産業の振興

本町の基幹産業でもある観光産業と振興に向けては、本年からJR6社による本格的なデスティネーション・キャンペーンが展開され、ラグビーワールドカップ開催に加え、翌2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど世界的規模によるインバウンド効果に期待が高まるなか、これら大きな追い風を確実に捉えるための観光施策が求められております。

本年4月には石廊崎オーシャンパークのグランドオープンを迎え、石廊崎復活の熱い想いが今まさに結実しようとするなかで、半島南部の観光振興に不可欠な観光拠点として期待される役割の大きさを痛感するところであります。

今後においても名勝石廊崎の賑わいを確かなものとするため、来訪者の利便性を高めるWi-Fi・EVスタンドなどの環境整備を進め、コンサートや星空観賞などの各種イベントに活用可能な多目的広場の造成に取り組んでまいります。

加えて、豊富な海産物と特色ある地場産品、類まれなるジオサイトや800本の桜並木といったオンリーワンの観光資源を活用しながら、魅力溢れる源泉群・温浴施設とのネットワークを以って新たな半島周遊ルートの確立を目指してまいります。

地域産業の活性化に向けた象徴的な取り組みとして、町営差田グラウンドに隣接する町有地での企業誘致事業が挙げられます。

平成31年度内での操業開始に向けて食品加工用建屋建築工事が着実に進展するなか、当該事業所職員の募集なども開始されるなど新たな雇用機会の創出に大いに期待するところであります。

今後も吉祥地区町有地の有効活用も念頭に次に続く事業者獲得を目指してまいります。

また、平成30年2月に締結した「地域活性化包括連携に関する協定」に基づき、南伊豆町再生可能エネルギー農山村活性化協議会を設置したなかで、バイオガス発電事業に着目し、木質バイオマス・ガス化発電技術を活用したプラントの早期事業化を目指してまいりましたが、平成31年度中には当該プラントの早期稼働に向けた詳細なプランニングや行程表などもご提示できるものと考えております。

加えて、森林材の賦存量から今後複数のプラント整備が可能とされることから全町的な事業化の広がりも期待されておりますので、同協議会を中心とした新たな産業振興による地域活性化に取り組んでまいります。

光通信網の全域整備

本町においては平成28年度に光通信網の整備に着手し、町内の約70%をカバーする62局での導入が完了いたしました。残る64・65・67局エリアの導入に向けて通信事

業者との交渉を進めるなかで、投資規模や採算性などから事業の継続は見送られてまいりましたが、情報通信網整備の取り組みについては、地域格差の解消はもとより移住・定住施策や地域活性化に不可欠な事業であると確信することから、平成31年度に光通信網整備事業者へ補助を行い、町内における情報通信格差是正を行います。

南崎・南上・三坂・三浜地区にお住まいの皆さまには何かとご不便をお掛けいたしました。早期稼働に邁進してまいりますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

福祉・防災の充実

平成30年4月から自治体間連携に基づく特別養護老人ホームエクレンシア南伊豆が開設し、東京都杉並区からの入所者受け入れとともに圏域での短期入所サービスなども展開されており、開所から約1年が経過するなかほぼ満床状態であると伺っております。

隣接する南伊豆町健康福祉センターは町民の健康増進と福祉向上に資する極めて重要な役割を担うものであり、保健福祉行政の拠点に相応しい施設機能を以ってその運営体制の適正化に取り組んでまいりました。

当該施設には介護予防や高齢者の総合的な相談窓口となる地域包括支援センターのほか地域福祉の推進役となる社会福祉協議会も所在することから、健康・福祉・子育て支援事業における拠点施設として幅広い年齢層の方々に利活用されており、昨年4月からの稼働実績を踏まえた年間利用者数を延べ5,000人と見込んでいるところであります。

防災行政無線は都道府県及び市町村で規定する地域防災計画に基

づき、それぞれの地域における防災・応援救助・災害復旧に関する業務に使用することを主な目的としておりますが、平常時には一般行政事務に使用できる無線局であることから所管する総務省では防災行政無線施設の早期デジタル化を推奨しております。

市町村で設置する防災行政無線は移動系と固定系に大別され、本町においては移動系のデジタル化はすでに完了しているものの、固定系のデジタル化には多額の事業費を要することなどから先送りされてきた経緯がございます。

適正かつ安定的な災害情報の提供は地域防災の要とされるものことから、平成31年度からの事業化を以って国・県補助金や過疎債などの財源確保に努め財政支出の平準化・効率化を図りながら同時通報用無線施設のデジタル化を推進してまいります。

以上、平成31年度の町政運営に対する基本的な考え方と概要を申し延べましたが、全国の小規模自治体においては行財政改革や定員管理を以って行政組織の再編・集約化のほか自治体間連携などの取り組みが強く求められており、身の丈に合った体制整備が急務とされております。

このため、なお一層の行財政改革に取り組み、町民の積極的な行政参加と協働を基軸とした住民自治こそが地域再生・地域創造の原動力であることを念頭に、我が町南伊豆の更なる発展を目指してまいります。



平成31年度 当初予算

政府は、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現するため「経済財政運営と改革の基本方針2018」等を着実に実行するほか「全世代型社会保障制度」の実現を目指し、労働制度をはじめとした制度全般の改革を進め、本年10月の消費税率引き上げに向けて経済財政運営に万全を期し、国税等の伸びを反映するなかで、地方の一般財源総額については、平成30年度と実質的に同水準を確保するとしております。

一方で、本町主要産業である観光業の低迷や人口減少などから町税等の伸びは期待できず、歳入の約7割を依存財源に頼らざるを得ない現状からも、国や県の動向に十分留意しながら将来を見据えた中長

期的な財政ビジョンが求められております。

新年度予算については、第5次南伊豆町総合計画における主要課題を踏まえ、施策・事業の進捗状況を的確に捉えたなかで、今後の施策展開に反映させるものであることが極めて重要となります。さらには、住民満足度を重視した効率的・効果的な行政運営が強く求められていることを鑑み、常に政策選択の最適化に努めるものであります。

総合計画・過疎計画を基本として多様化・高度化する住民ニーズや自治体を取り巻く環境等を的確に把握し、事業効果と優先順位に配慮した適切な予算配分に努めたところであります。

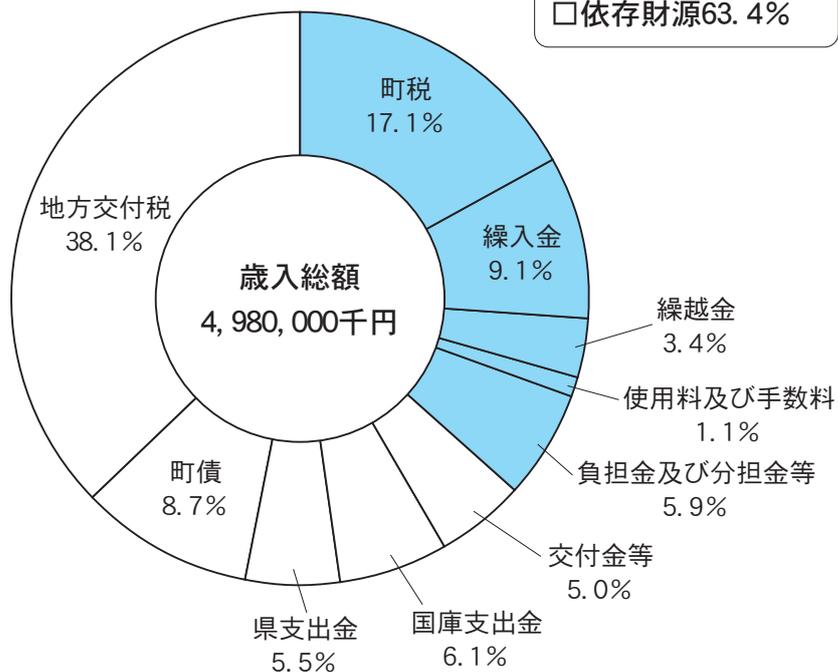
一般会計 歳入 49億8,000万円

自主財源 36.6%

地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源 63.4%

国県支出金など自主財源以外の財源



■ 自主財源36.6%
□ 依存財源63.4%

町税 8億5,007万9千円

町民の皆さまに納めていただく税金。町民税、固定資産税など

繰入金 4億5,419万3千円

各種基金(貯金)から繰り入れるお金

繰越金 1億7,000万円

平成30年度から繰り越したお金

使用料、手数料 5,494万5千円

保育料、町の施設の使用料、証明手数料など

負担金、分担金等 2億9,364万4千円

特定のサービスを受けた方から負担していただくお金

交付金等 2億4,710万1千円

国から一定の割合で配分、譲与されるお金

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

国庫支出金 3億214万8千円

町が行う特定の事業に対して国から交付されるお金

県支出金 2億7,479万円

町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

町債 4億3,310万円

町の借金。大規模な事業を行うために国などから借りるお金

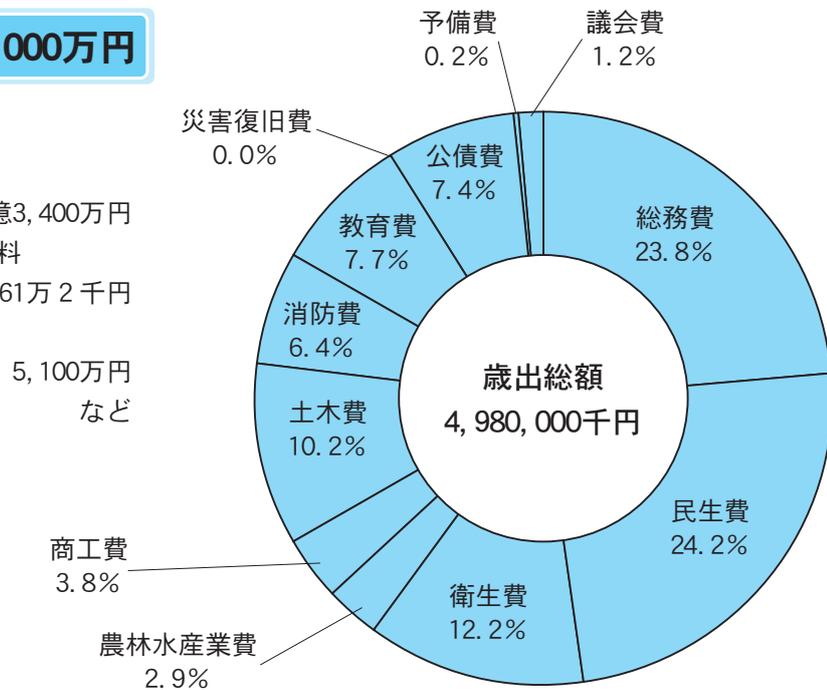
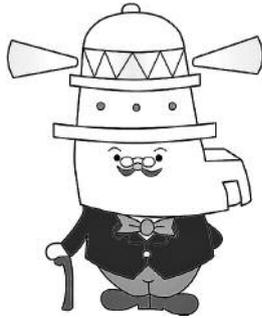
地方交付税 19億円

町が標準的な仕事をする際に、不足する財源を補つるため国から交付されるお金

一般会計 歳出 49億8,000万円

●主要事業

光ファイバ網整備事業費補助金 3億3,400万円
 清掃センター包括運転管理業務委託料 1億7,761万2千円
 南中小学校グラウンド改修工事 5,100万円など



議会費 6,106万7千円

議員報酬や議会の運営経費など

総務費 11億8,378万円

行政全般の事務に関する経費、企画調整費、財産管理経費など

民生費 12億680万9千円

高齢者、心身障害、母子などの福祉事業や子育て支援の経費など

衛生費 6億889万8千円

住民検診などの健康管理、ごみ焼却の運営管理経費など

農林水産業費 1億4,166万4千円

農業・林業の振興、緑化推進事業の経費など

商工費 1億8,753万4千円

商工業、観光業の振興に関する経費など

土木費 5億747万6千円

道路・河川などの改良事業や維持管理、都市計画や街路整備、下水道事業特別会計への繰り出しなど

消防費 3億1,879万5千円

消防組合および消防団の経費や防災対策経費など

教育費 3億8,297万6千円

小中学校の管理運営費、生涯学習などの費用、図書館の運営費など

災害復旧費 104万8千円

災害による復旧費

公債費 3億6,995万3千円

事業を行うために借りたお金(町債)の償還費用

予備費 1,000万円

予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための費用

特別会計予算 32億96万6千円	
国民健康保険特別会計	14億6,448万7千円
介護保険特別会計	12億7,184万4千円
後期高齢者医療特別会計	1億2,903万9千円
南上財産区特別会計	58万9千円
南崎財産区特別会計	42万1千円
三坂財産区特別会計	587万2千円
土地取得特別会計	1千円
指導主事共同設置事業特別会計	3,453万2千円
公共下水道事業特別会計	2億2,716万1千円
子浦漁業集落排水事業特別会計	2,365万9千円
中木漁業集落排水事業特別会計	1,809万5千円
妻良漁業集落排水事業特別会計	2,526万6千円

企業会計予算 5億2,098万9千円	
水道事業会計	5億2,098万9千円

用語の解説

一般会計

町税および国や県からの補助金などを主な財源とする、行政運営の基本となる会計で、町が行う事業の大部分を占める。

特別会計

特定の事業を行うための会計で、主として保険料や使用料などの収入で賄う。

企業会計

公共の利益を目的にして経営する事業で、独立採算型の会計。

平成31年度 町の組織案内

開庁時間 8:30~17:15

※土日祝日および年末年始(12月29日~1月3日)は、特別な業務を除き、業務を行っていません。

総務課	総務係	町長秘書、行政、選挙、人事、条例、行政協力員、情報公開、行財政改革、等
	財政係	予算・決算、公会計改革 等
	管財係	入札・契約、入札参加申請、工事検査、庁舎管理、財産管理、施設予約受付 等
	防災係	防災、消防、交通安全、自衛隊、暴力追放、防犯 等
☎ 62-6211 ☒ soumu@town.minamiizu.shizuoka.jp		

企画課	企画係	石廊崎開発、半島振興、新エネルギー、コミュニティ、バス対策、国土・土地利用、広域連携、ジオパーク、男女協同参画 等
	情報政策係	広報・公聴、統計調査、消費者行政、基幹情報電算業務、光通信、タウンプロモーション 等
☎ 62-6288 ☒ kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地方創生室	地方創生係	地方創生、地域再生計画、総合計画、過疎・辺地、移住定住、地域おこし事業 等
☎ 62-1121 ☒ sousei@town.minamiizu.shizuoka.jp		

商工観光課	観光推進係	観光、町営温泉施設・道の駅管理、観光施設整備事業、緑化 等
	商工振興係	商工、ふるさと寄附、企業誘致(町有地利活用、内陸フロンティア) 等
☎ 62-6300 ☒ shoukou@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地域整備課	公共管理係	公共土木施設管理、占用、境界立会、都市計画、建築確認、自然公園法、町営住宅 等
	建設整備係	公共土木、港湾・漁港・農林施設設計施工管理、災害復旧事業、急傾斜 等
	農林水産振興係	農林水産振興、松くい虫、鳥獣保護、有害鳥獣対策、治山、農業委員会、水田転作、地籍調査 等
☎ 62-6277 ☒ tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp		

教育委員会	社会教育係	社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、芸術文化、青少年健全育成、図書館関係 等
	学校教育係	学校教育、学校施設整備、学校給食、学校会計庶務 等
☎ 62-0604 ☒ kyoin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

※学校給食調理業務および図書館業務を、シダックス大新東ヒューマンサービス㈱静岡営業所に委託しています。

町民課	課税係	町民税、法人町民税、軽自動車税、国保税、入湯税、固定資産税 等
	納税係	町税徴収、滞納処分 等
	住民年金係	戸籍、住民票、印鑑証明、火葬許可、人権相談、国民年金、旅券事務 等
☎ 62-6222 ☒ cyoumin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

健康増進課	国民健康保険係	国民健康保険(給付)、後期高齢者医療保険、特定健診 等
	健康増進係	予防接種、健康増進事業(各種がん検診、健康教育・相談)、保健協力委員、母子・歯科・精神保健、患者輸送車 等
☎ 62-6255 ☒ kenkouz@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課	子育て支援係	認定こども園事務、母子・こども医療、児童手当 等
	介護保険係	介護保険
	福祉係	民生児童委員、老人・障害福祉、生活保護、災害救助、日赤・共同募金 等
☎ 62-6233 ☒ fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課(健康福祉センター内)	地域包括支援センター	介護予防事業、介護予防給付、高齢者総合相談、権利擁護事業 等
☎ 36-3335 ☒ fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

生活環境課	上下水道係	企業会計、水道施設の維持管理、水道工事の設計・施工管理、水質検査、下水道工事、クリーンセンター等施設の維持管理、漁業集落排水施設管理 等
	生活環境係	環境、公害、生活排水監視、犬の登録、ごみ処理・収集事務 等
☎ 62-6270 ☒ seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp		

※検針、水道料金、下水道料金および畜犬手数料の徴収を、㈱フューチャーイン静岡支店に委託しています。
 ※上下水道施設の管理業務、清掃センター運転管理業務および一般廃棄物ごみ処理手数料(持込手数料)の徴収業務を、㈱ウォーターエージェンシー南伊豆管理所に委託しています。

会計室	会計係	町公金の収納・支払い、県収入証紙の売捌 等
☎ 62-6220 ☒ kaikai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

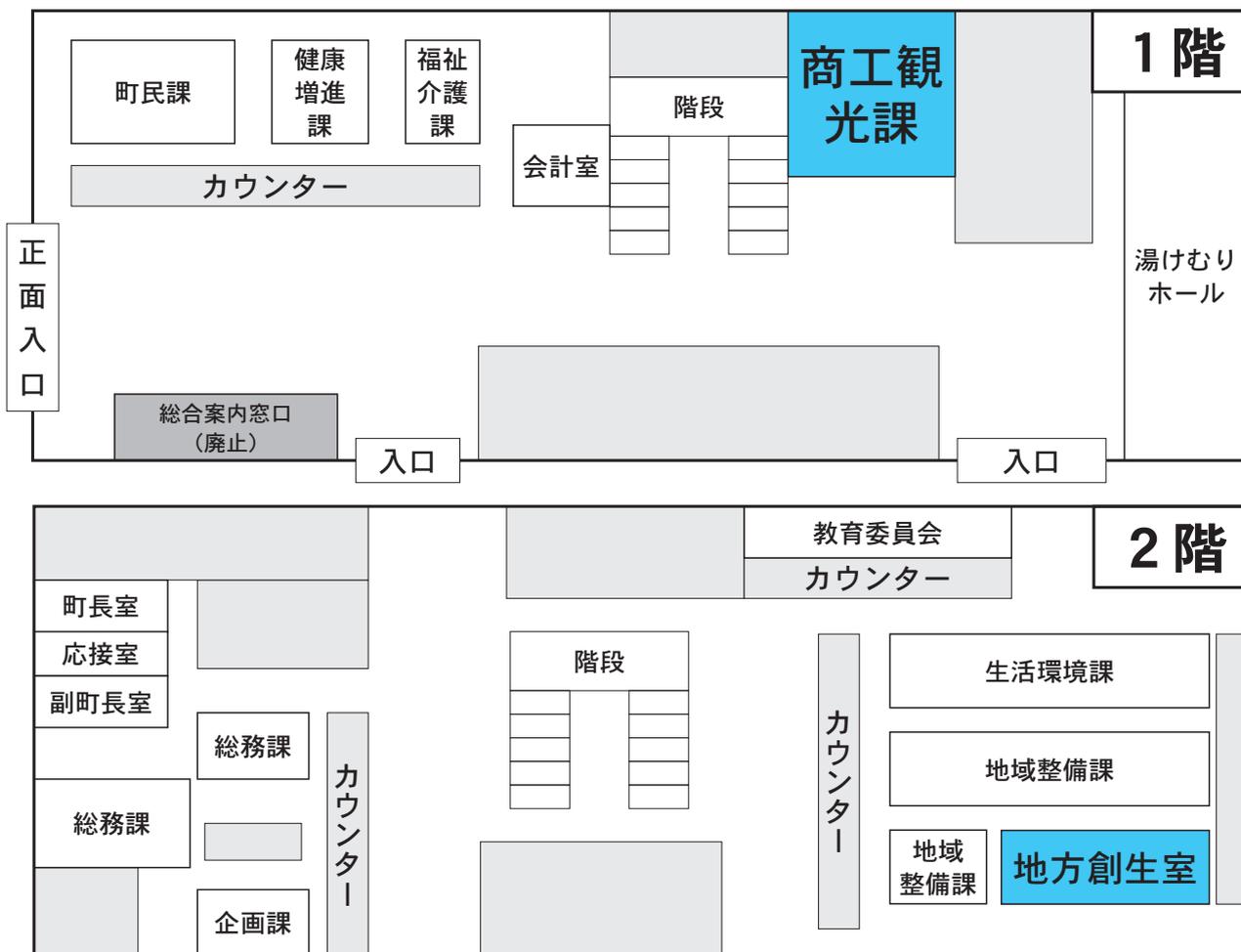
議会事務局		議会、監査事務 等
☎ 62-6240 ☒ gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp		

部署の配置が変わりました



4月1日（月）から、下記の通り部署の配置が変更となりましたのでご注意ください。

対象課	変更前	変更後
商工観光課	役場2階 階段を上がって左側	役場1階 階段横（湯けむりホール側 旧調理室）
地方創生室	役場2階 階段を上がって正面	役場2階 階段を上がって左側
総合案内窓口	役場1階 正面玄関から入って右	廃止



※調理室は平成30年度にオープンした健康福祉センターに移転しております。

問合せ 総務課 総務係 ☎ 62-6211

子宮頸がん検診のお知らせ

平成32年（2020年）3月31日時点で20歳以上かつ偶数年齢の女性を対象に、検診車による集団検診と、医療機関での個別検診を実施します。

自身の健康のためにも、2年に1度は必ず子宮頸がん検診を受けましょう。

集団検診

実施期間	平成31年5月24日(金) 12:00~15:00 平成31年5月25日(土) 8:45~11:45
実施場所	役場 湯けむりホール前 検診車内
予約先	健康増進課 健康増進係
予約受付期間	4月8日(月)~19日(金) 8:30~17:15
負担金	南伊豆町国民健康保険加入者、70歳以上の方……無料 それ以外の方……1,200円
定員	70名程度



個別検診

実施期間	平成31年5月7日(火)~7月31日(水)
実施場所	下田メディカルセンター、臼井医院、 小川クリニック、伊豆今井浜病院
予約先	各医療機関へ直接お申込み下さい
負担金	南伊豆町国民健康保険加入者、70歳以上の方……無料 それ以外の方……1,700円

20~40歳で偶数年齢の方、及び町の検診を希望している方については個別通知を送付しています。対象年齢で受診票が届かず、受診を希望される方は下記までご連絡下さい。

問合せ 健康増進課 健康増進係 ☎62-6255

障害のある人のための相談会を実施しています

毎月1回、賀茂障害者就業・生活支援センターが障害のある人のための相談会を実施しています。障害の種別を問わず、障害のある人の就職や生活面での相談、障害のある人を雇用する事業主の皆さんの相談、自分らしく働ける場所を探している方の相談など、幅広く相談を受け付けておりますので、相談を希望する方は下記までご連絡下さい。

日時：毎月第3木曜日（※8月は第4木曜日）13:30~15:30 要予約

毎月15日発行の広報みなみいずお知らせ版で相談日をお知らせしておりますので、ご確認下さい。

場所：役場1階 相談室

問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

下田メディカルセンターへの バス通院料金を助成します

町では、下田メディカルセンターへの通院に要するバス料金の一部を助成しています。

●助成対象者

①南伊豆町に住所があり、申請日において満65歳以上で生活保護世帯でない方

②上記①の方が通院する際に付き添う方で、バスを利用する方（1名に限る）

●助成額

1回の通院に要したバスの料金の半額を助成します。

なお、1回の通院のバス料金が2,000円を超えた場合は、バス料金から1,000円を引いた金額を助成します。



●申請手続き

福祉介護課にて申請を受け付けます。

審査の上、「平成31年度 南伊豆町高齢者通院バス料金助成証明書」を発行します。

申請に必要なもの：印鑑、保険証

※平成30年度に申請された方も、平成31年4月1日以降に利用する場合は再度申請する必要があります。

●使用方法

バスを降りる際（行きと帰り時）と、下田メディカルセンター受診後（会計終了後、受付窓口）、証明書に確認の印を受けて下さい。

●請求・支払い

高齢者通院バス料金請求書に助成証明書を添えて請求して下さい。

問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

静岡県デスティネーションキャンペーンが始まります！

4月1日（月）から6月30日（日）までの3カ月間、JRグループと地域が一体となって取り組む国内最大規模の観光キャンペーンの「静岡県デスティネーションキャンペーン（静岡DC）」が開催されます。

DC期間中は県内外から多くの観光客の方が静岡県、そして南伊豆町に訪れることが予想されます。

また、DC特別企画としてサンセットクルーズやスカイランタンナイト in 南伊豆、ジオウォーキング、スター☆ライト a i a i など、多くのイベントを開催いたします。

南伊豆町の良さを多くの方に知っていただくために、観光業に携わる人だけでなく、町全体でDCを盛り上げましょう。

●「SNS伊豆自慢」1万件おもてなし町民運動開催中！

DCの開催に合わせて、町の魅力をSNSで発信し、町のファンを獲得しましょう！

詳細は（一社）南伊豆町観光協会のホームページをご確認下さい。

観光協会ホームページ URL：<http://www.minami-izu.jp/>



観光協会ホームページ

【タグ】

「#いいね伊豆」「#超南伊豆」

問合せ 商工観光課 観光推進係 ☎62-6300
（一社）南伊豆町観光協会 ☎62-0141

ゴールデンウィーク中の 各種機関の営業について

平成31年4月27日（土）から5月6日（月・祝）までの10日間にわたり、元号改正等に伴う大型連休となります。連休中の各種公共機関や医療機関などの営業予定は、下記のとおりとなりますのでご了承ください。

豆知識：祝日法第3条第3項により、祝日に挟まれた祝日ではない日は「国民の休日」になる。

●役場窓口

月	4月				5月					
日	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
営業	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※日直の職員がおりますので、通常の休日と同じく戸籍の届出は受け付けております。

●医療機関

施設名（連絡先）	4月				5月					
	27 土	28 日	29 月	30 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月
下田メディカルセンター（☎ 0558-25-2525）	午前のみ	×	×	×	×	1日	×	×	×	1日
白津医院（☎ 62-3116）	午前のみ	×	×	1日	×	1日	×	×	×	×
飯島医院（☎ 62-4500）	1日	×	×	1日	1日	×	×	×	×	×
渡辺医院（☎ 62-0016）	×	×	×	×	×	午前のみ	×	×	×	×
市之瀬診療所（☎ 63-3670）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
みなとクリニック（☎ 62-0005）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平野歯科医院（☎ 62-0340）	1日	×	×	1日	1日	1日	×	×	×	×

※病院における診療科や開院時間等については各施設に直接お問い合わせください。

●ごみの収集

ごみの収集は通常通り行います。

●消費生活相談

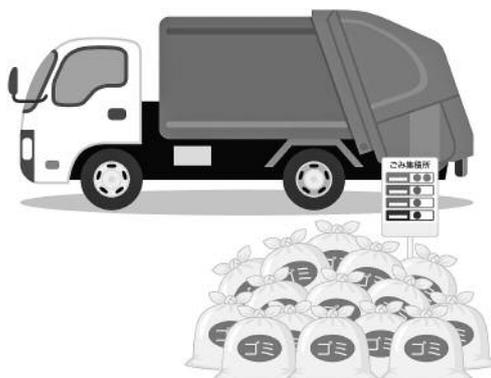
連休中の消費生活相談は、消費者ホットラインをご利用下さい。

消費生活ホットライン ☎ ^い1 ^や8 ^や8（局番無し）

●移住定住の問合せ

事前申込による現地案内制度があります。詳しくは移住定住事務局のNPO法人伊豆未来塾までお問い合わせください。 NPO法人伊豆未来塾 ☎ 090-5858-5486

※上記の情報は広報作成時の予定となりますので、変更となることがあります。詳細につきましては各種機関まで直接お問い合わせください



問合せ 総務課 総務係 ☎ 62-6211

2/20 上手にできるかな？



丁寧にクッキーの型取りをする園児たち

南崎認定こども園にて、クッキー作りが行われました。出来上がったクッキーを皆で仲良く食べたあと、10月に行われた紙飛行機教室の講師の先生たちにプレゼントしました。

3/8 ヤシ、冬を乗り越える



無事に冬を越した奥石廊崎のヤシ

奥石廊崎にて、春の訪れに伴い、県道沿いのヤシにかけたコモを外す作業が行われました。コモ外しの当日はとても暖かく、春の訪れを感じながらの作業となりました。

3/10 芸能部門発表会



踊りや歌など、様々な芸能が披露された

役場湯けむりホールにて、第24回芸能部門発表会が行われ、会場は大変賑わいました。参加者達は発表会のために練習を重ね、優雅な踊りや歌を披露しました。

2/22 桜並木をお散歩



仲良く手をつないで散歩をする園児たち

南伊豆認定こども園の園児達が、満開の桜並木の下を歩き、青野川の土手に咲く菜の花や、地面から顔を出しはじめたつくしを見つけ、少し早い春の訪れを満喫しました。

3/9 ジビエクッキング



調理を行う児童たち

吉祥にて、ふるさと学級の一環としてジビエクッキングが行われ、シカ肉を用いたミートソースを作りました。参加した児童達は普段食べることがないシカ肉を味わいました。

3/13 自衛隊入隊激励会



自衛隊に入隊する吉田さん（中央下段）

役場湯けむりホールにて、この春から自衛隊に入隊する吉田悠人さんの激励会が行われました。吉田さんは「不安はあるが、同期達と一緒に頑張っていきたいです」と意気込みを語りました。

今月のおすすめ



「姫君たちの明治維新」
岩尾光代著／文藝春秋
明治維新の波に翻弄され数奇な運命を辿った大名や華族の姫君たちに迫る歴史書。落城、離別、政略結婚。時代に黙殺された、もう一つの維新史。



「宝島」
真藤順丈著／講談社
米軍統治下の沖縄を舞台に、奪われた「故郷」を取り戻そうと立ち上がった少年少女が織りなす青春と革命の一大抒情詩。直木賞受賞の青春群像劇。



「百まで生きる覚悟」
春日キスヨ著／光文社
巷に溢れる、高齢者向けの美しい「最期」を迎える為の終活本…、なんて信じるな！財力も社会関係力も無い普通の高齢者が歩むべき終活とは？



「無事に返してほしければ」
白河三兎著／小学館
水難事故で行方不明になった息子を持つ母親が受けた一本の脅迫電話。「おたくの息子を預かっている」その真偽は？予測不能の誘拐ミステリー。



「奇跡の本屋をつくりたい」
久住邦晴著／ミシマ社
出版不況の中、札幌の書店が発案した奇想天外な企画フェア。「売れない文庫」「売れない名作」店主が綴った紆余曲折の本屋稼業。本屋好き必読！



「介護士K」
久坂部羊著／KADOKAWA
老人ホームで発生した転落死亡事故。「長生きで苦しむ人は早く死なせた方がいい」過激な思想を持つ、ある職員に入所者虐待の目が向けられる。



「未来職安」
柞刈湯葉著／双葉社
労働がステータスシンボル！？機械化が進み99%の国民が働かなくなった近未来、働く事がエリート証明になった…。常識を覆す就活SF。



「蕪村 己が身の闇より吼て」
小嵐九八郎著／講談社
江戸時代中期。叔父を殺めて京へ逃れた男…。後に俳諧の巨匠として名を残す、与謝蕪村である。天才俳人が抱えた闇を解き明かす長編歴史小説。



「食にまつわる55の不都合な真実」
金丸弘美著／ディスカヴァー・トゥエンティワン
食料自給率の低下による輸入食料の増加に伴い、生産過程不明の食材が食卓に並ぶ…。その食事、大丈夫？食の危機を憂い日本の健康を考える一冊。



「住まいと暮らしのサイズダウン」
柳澤智子著／マイナビ出版
家選びの革命！ものを手放し、あえて狭い家を選択！従来の価値観や常識を手放し、すっきり軽やかな小さな暮らしを提案するスタイルブック。

新着図書案内

考えるとはどういうことか	梶谷真司
かみさまは小学5年生	すみれ
障害者と笑い	埴 幸枝
山怪 弐・参	田中康弘
スッパリした朝に変わる睡眠の本	
	梶本修身
一切なりゆき	樹木希林
大人のにほんご事典	齋藤 孝
平成くん、さようなら	古市憲寿
夜汐	東山彰良
銀河食堂の夜	さだまさし
悪童	山田洋次
「違うこと」をしないこと	吉本ばなな
比類なきジューズ	
	P・G・ウッドハウス
ほどなく、お別れです	長月天音
常設展示室	原田マハ

図書館利用案内

図書館の利用について

4月は出会いの季節です。図書館でも感動、興奮、郷愁等をもたらす様々な分野の本が皆さんとの出会いを待っています。ぜひ一度、図書館へお越しください。

- ◆本を借りる際は他者との誤認防止のため、カウンターで必ず利用者カードを提示して下さい。
- ◆新刊雑誌の貸出は一人二冊までで、貸出延長はできません。
- ◆DVDの貸出延長はできません。
- ◆DVD、新刊雑誌は汚損・破損の原因となりますので、返却ボックスではなく必ずカウンターへ返却願います。

第12回おはなしの会「ピロシキ」公演会のお知らせ

日時 4月21日(日) 14:00開演
場所 役場湯けむりホール
入場 無料
問合せ先 南伊豆町立図書館
☎ 62-7100

健康レシピ

はんぺん入り鶏ひき肉のハンバーグ



▷ 材料 4人分

栄養価 1人分 (エネルギー: 152kcal たんぱく質: 15g
脂質: 7.5g 塩分: 1.2g)

鶏ひき肉……………200g
芽ひじき(乾)… 5g
たまご……………1個
はんぺん……………1枚
サラダ油……………大 1/2

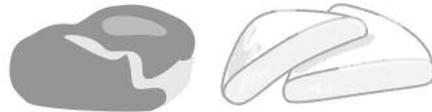
A
塩……………小 1/3
しょうゆ……………小 1/2
砂糖……………大 1/2
しょうが汁…小 1

▷ 作り方 ◁

- ①ひじきは15分程度水につけて戻す。たっぷりの湯でさっとゆで水気を切って冷ましておく。
- ②ボウルに潰したはんぺんとたまごを混ぜ合わせる。
- ③②に①、A、鶏ひき肉を混ぜ合わせ、4つにまとめる。楕円形にし、中央部分を軽く押さえる。
- ④フライパンにサラダ油をひき、こんがり焼き色がつくまで両面焼く。

ここがポイント!

冷めても、固くなりにくいハンバーグです。ソースなどをかけなくても味がしっかりついています。



な ず み か い
南豆味会 (健康づくり食生活推進協議会)
問合せ 健康増進課 ☎62-6255



ご応募お待ちしております!

南伊豆くらし図鑑は家族でのご応募也大歓迎です。



子どもたちはワイワイ喋りながら(時に無心で)楽しく作業に没頭していました。



こちらが完成したリアカーゴ。車にすっぽり収まり、持ち運びに便利です。

私は現在、一対一の暮らし体験プログラム「南伊豆くらし図鑑」という事業に取り組んでいます。(インターネットで「南伊豆くらし図鑑」と検索すると出てきます)

このプログラムは「一対一」で南伊豆の暮らしを体験できるというのが大きな特徴です。例えば、漁師の平山さんの日常におじゃまして、伊勢海老漁に同行する体験では、網にかかった伊勢海老をはずしたり、市場に出回らないお魚を焼いて漁師さんと食べたりします。他にも、山の木々からシャンプーづくり、自然の恵みで自給自足体験など、多種多様な日常を体験できます。

10月からゆっくりと動き始めたこのプログラムはテストモニターを含めると、現在約40名(3月末時点)の方が参加されています。

先日、山梨県から家族連れで3名の方が南伊豆くらし図鑑に参加されました。その中で選ばれた体験は山之内さんの「小商いにオススメ!リアカーゴづくり」。山之内さんとともに、移動式リアカー屋台「リアカーゴ」を作りました。

山之内さんが見守る中、子どもたちは金づちで釘を打ったり、ヤスリで木を綺麗にしたり、一緒に時間を過ごしました。基本的に一対一を推奨している南伊豆くらし図鑑ですが、家族を一組と捉えてもいいなという発見がありました。もし、皆さんの周りで南伊豆に遊びに来るとい方がいたらぜひ紹介してみてください。自分と異なる誰かの日常体験からは、きっと新しい繋がりや発見が生まれると思います。

隊員 伊集院

問合せ 地方創生室 ☎62-1121

お知らせ

俺のカラダ改造計画第2弾 USGスクール参加者募集 (申込制)

健康づくりに向け、運動（U）習慣（S）をゲット（G）するための教室を、下記の通り開催します。男性健康運動指導士（トレーナー）がサポートします。

日時 4月24日、5月8日、5月15日、5月22日、5月29日、6月12日、6月19日、6月26日
19:00～20:30

場所 役場湯けむりホール

内容 体組成測定、体力測定、健康運動指導士による筋トレ運動など

対象者 南伊豆町に住所がある20～64歳の男性。先着20名

参加費 1,600円

申込方法 電話による申込

申込期日 4月19日（金）

申込・問合せ 健康増進課健康増進係
☎62-6255

ふれあい看護体験参加者 募集

内容 一般の方に看護体験を通じて、看護職への理解を深めてもらう

日時 体験先の施設ごとに異なる

申込方法 往復はがきに必要事項を記入し、体験を希望する施設の「ふれあい看護体験係」宛に送る

申込期限 4月19日（金）

施設詳細 静岡県看護協会ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

その他 応募等詳細については下記までお問い合わせください

問合せ 静岡県ナースセンター
☎054-202-1761

メール shizuoka@nurse-center.net

各種検査やドナー登録の 実施

日時 原則第3木曜日

4月18日、5月16日、6月13日、7月18日、8月15日、9月19日、10月17日、11月14日、12月12日、2020年1月23日、2月20日、3月5日 ※2020年の予定については変更となることがあります。

●実施時間 原則9:00～12:00
6月、12月（午後・夜間検査を予定）13:30～15:00、17:30～19:00

場所 下田総合庁舎別館1階相談室
内容

●匿名、無料、要予約検査
B型肝炎、C型肝炎、HIV検査、梅毒検査

●無料、要予約検査（11月のみ）
HTLV-1検査

●ドナー登録
全日程において実施。ただし前日までに要予約

●結果通知
検査当日の14時以降に本人に口頭で告知

午後検査時は15時以降に本人に口頭で告知

夜間検査時は19時以降に本人に口頭で告知

HTLV-1検査結果は数日～1カ月後に本人に口頭で告知

申込方法 電話による予約

申込期限 検査前日の16時まで

申込・問合せ 賀茂保健所地域医療課 ☎0558-24-2052
松崎保険支援室（相談のみ）
☎0558-24-2052

新入園児・新入学児を交通事故から守る県民運動の実施

4月4日から4月10日までの7日間、新入学（園）児を交通事故から守る県民運動を実施します。この運動は、家庭・学校・地域が一体となり、安全で安心な交通環境を構築し、新入学（園）児の交通事故防止を図ることを目的としています。

問合せ 総務課防災係
☎62-6211

海のレジャー安全を守る

ゴールデンウィーク頃から海のレジャー事故が増加する傾向があります。次の点に注意して、安全に海のレジャーを楽しみましょう。

注意事項

●海上保安庁の「ウォーターセーフティガイド」の各注意事項を守る。
ウォーターセーフティガイドQRコード（海上保安庁のホームページに接続します）


●気象情報を常にチェックして、勇気ある撤退と中止を。

●単独の行動は避け、緊急時の連絡先など、支援を受けることができるよう備えておきましょう。

●飲酒後の活動はやめましょう。

●危険な海域や気象などについて、地元での情報収集を忘れずに。

問合せ 下田海上保安部交通課
☎0558-23-0145

第20回静岡県障害者 スポーツ大会開催

内容 陸上、水泳、団体球技など17種目

申込期間 4月8日（月）～5月7日（火）

その他 詳細については下記までお問い合わせください

申込・問合せ 公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内
☎054-221-0062
FAX: 054-651-2600

ナйтスカイ ウォーク開催

日時 5月3日（金）～5日（日）
18:00～21:00

料金 大人1,500円、中高生500円、小学生200円
（町内小中学生は入場無料）

申込・問合せ 三島スカイウォーク
☎055-972-0084



メディカル通信

気軽に来院できる小児科を目指しています

はじめまして、この度小児科に常勤医として赴任してきた、田中と申します。

今まで私は、主に大都市にある中核病院で勤務をしておりましたが、去夏の観光客が多い忙しい時期から小児科をはじめとする救急医療に1ヵ月に1度ほど携わったことが、今回、当院に常勤医として赴任するきっかけとなりました。

その後、小児科で週に1度ほど勤務しているうちに、下田の魅力に引かれて常勤医として働くことになりました。

賀茂地域では少子化が進んでおり、患者さんの絶対数が少な



いことから、相対的に小児科医の人数が少ないという状況です。そのような中で、偏らない標準的な医療を行っていくのと同時に、当院の他科や他の医療機関との連携を大事にしていきたいと考えています。

また、受診しようか迷った時は気軽に来院してもらえそうな、敷居の低い小児科を目指していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

小児科勤務医 田中 健

☎ 下田メディカルセンター
☎ 25-2525

交流自治体

だより

東京都杉並区



戦国大名 今川氏ゆかりの静謐な寺 観泉寺

戦国時代、駿河・遠江・三河の三ヶ国（静岡県東部から愛知県東部まで）を治められた今川氏のことをご存知の方は多いと思いますが、その今川氏ゆかりの寺社が、実は遠い杉並区にも存在します。

杉並区今川にある観泉寺は、慶長2年（1592年）に建立された寺で、当初は名を観音寺といました。この寺を今川13代直房が、正保2年（1645年）に現在地に移して観泉寺と改め、祖父・氏真を開基として墓を当寺に改装するとともに、今川家累代の供養塔を安置しました。

現在、観泉寺にある今川氏累代の墓は、都指定旧跡となっています。広い境内には、池や枝

垂桜に囲まれて、本堂、観音堂、宝塔などの由緒ある建物群が点在し、風情ある趣があります。

杉並区内にはこの他にも、直房が葬られている長延寺など、今川家ゆかりの寺社があります。杉並区に残る、「駿河に君臨した名家今川家」の歴史をたどってみるのはいかがでしょうか。

☎ 杉並区産業振興センター観光係
☎ 03-5347-9184



戸籍の窓

結婚おしあわせに

地区	お名前（旧姓）	婚姻日
上賀茂	八重樫 輝・翔子(鈴木)	2.2

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
中木	鶴田さわ江	92	2.3
湊	高橋 英子	95	2.4
妻良	清田 史江	77	2.6
下賀茂	鈴木八重子	89	2.8
吉祥	鈴木 興明	68	2.10
下賀茂	村山 泰輔	71	2.12
大瀬	菊池 甚一	89	2.12
湊	山田 護	82	2.13
手石	肥田 保和	63	2.16
青野	鈴木恵美子	87	2.16
手石	土屋富美江	89	2.26

平成31年2月1日から2月28日までに届出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時にお申し出ください。

人の動き

（3月1日現在）

世帯数 3,900世帯

人口 8,304人（-15）

男 3,971人 女 4,333人

-----（2月中）-----

転入 20 転出 15

出生 0 死亡 20

※広報みなみず3月号にて掲載いたしました下記ページにて、誤記がありました。正しくは下記の通りとなります。大変申し訳ありませんでした。

・5ページ「100歳のお誕生日おめでとうございます」
正：竹本 しづ子さん（下賀茂）
誤：竹本 しづ子さん（下小野）

・13ページ「お悔やみ申し上げます」
正：手石 関本皖也
誤：湊 関本皖也

4月は、固定資産税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。
税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



南伊豆東中学校女子バレーボール部の皆さん

2月に東伊豆町で行われた伊豆東海岸中学バレーボール大会で、南伊豆東中学校女子バレーボール部が優勝したため、町広報担当によるインタビューを行いました。

Q. 優勝おめでとうございます。優勝されてどのような気持ちですか？

A. 強いチームと戦えて、自分たちのプレイがしっかりと出来たので優勝することができました。嬉しかったです。

Q. 部活動で頑張ってきたことは何ですか？

まちの人

伊豆東海岸 中学バレーボール大会優勝 南伊豆東中学校女子バレーボール部

A. 基礎的なことですが、サーブをしっかり決めることと、相手のサーブをしっかりとレシーブし、ボールを繋げていくことを練習しました。他にも声出しなど、細かいことにも気をつけています。

Q. これから頑張りたいことは何ですか？

A. 7月の中体連に向けて気持ちを切り替えて練習に打ち込んでいきたいです。また、4月には新1年生が入ってくるので、お手本になれるよう気をつけながらしっかりと教えて、チーム全体として強くなれるように頑張ります。

健康一口メモ

花粉症を乗り越えましょう

花粉症は、スギやヒノキなどの花粉によって引き起こされるアレルギー症状で、主な症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみです。つらい症状を軽減させるためには目薬や服薬等で症状を抑える他、花粉を吸うことをできるだけ避けることが重要です。

【花粉を避ける方法】

外出時：メガネ・マスク・帽子・花粉が付きにくい繊維の服の着用

帰宅時：洋服や髪の毛についた花粉をよく払い落とす。うがい・手洗い・洗顔

花粉症の症状がひどい場合には、耳鼻科等の医療機関を受診しましょう。

問合せ 健康増進課 ☎ 62-6255



スマイルキッズ



下小野 ^{ほらだ}原田 ^{こうや}航弥 くん (1歳6か月)

「車走らせて遊んでいます！」

広報みなみいず 4月号

発行日／平成31年4月1日
発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／(有)サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

健康一口メモでも触れられていますが、花粉症の症状がひどい人は早い時期から服薬するのがオススメです。私は飲むのを忘れることが多々あったので、取材で外に出る度にしっかりと服薬しておけば良かったと、今、鼻水を流しながら後悔しています。



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。